

令和 8 年度 丹波栗品評会 開催要領

1 開催目的

兵庫県内で生産される丹波栗の生産者が、互いの栗の品質を競い、優れた栗を生む努力と栽培技術を共有することにより、栽培意欲の喚起と技術の改善、品質向上を図り、丹波栗の振興につなげることを目的とする。

2 主催

丹波市丹波栗振興会（世話役組織）、丹波ささやま栗振興会、J A 丹波ひかみ丹波栗生産組合、J A 丹波ささやま栗部会

3 後援（予定）

丹波篠山市、丹波市、丹波ひかみ農業協同組合、丹波ささやま農業協同組合
神戸新聞社、丹波新聞社、兵庫県果樹研究会、兵庫県

4 開催日時・開催場所

- (1) 開催日時 令和 8 年 10 月 16 日（金） 8：30～16：00
- (2) 開催場所 J A 丹波ひかみ 本店 3 階 大ホール（兵庫県丹波市氷上町市辺 440）

5 日程

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (1) 集合・準備・出品栗の搬入・受付 | 8：30～ 9：00 |
| (2) 出品栗の展示・準備 | 9：00～10：00 |
| (3) 出品栗の審査 | 10：00～11：00 |
| (4) 出品栗展示 | 12：30～14：30 |
| (5) 表彰状授与式（審査結果並びに講評） | 13：30～14：30 |
| (6) 撤収・後片付け | 14：30～16：00 |

6 経費

品評会の開催にかかる経費は、主催団体が負担するものとする。

出品要領

1 出品範囲

出品者は、兵庫県丹波地域で栗を栽培している生産者とする。

2 出品方法

(1) 出品量

出品栗 1 点につき、1.1 k g とする。

(品評会当日受付時に 1.1 k g を切らないこと。また、虫害果があった際の入替え用、予備として別袋で 2 個準備する。)

(2) 出品条件

ア 兵庫県丹波地域で出品者が栽培した栗に限る。

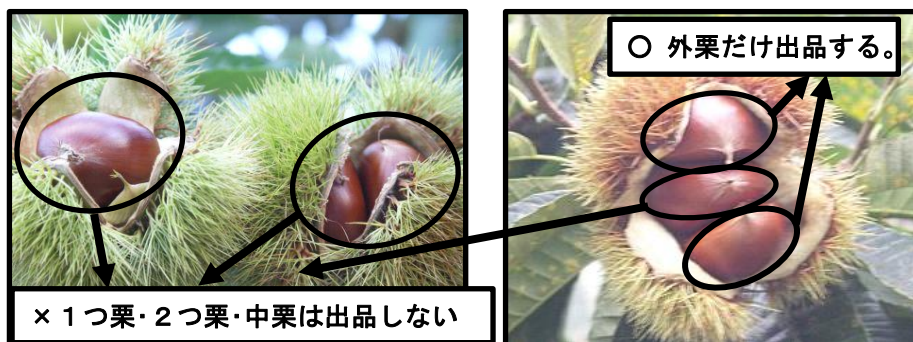
イ 品種が異なれば個人での出品点数は制限しない。ただし同一家族及び同一会社組織等での出品はできない。

ウ 品種が明確であるもの（他品種が混ざると秀品でも失格とする）。

エ 1 つ栗・2 つ栗・中栗を除いたもの（3 つ栗の側果に限る）。

オ 病虫害の被害のないもの。

カ ワックス効果のある資材で磨いていないもの。



(3) 出品方法

出品申込時期・申込先・出品方法等は、所属する生産者組織で定める。

令和8年度 丹波栗品評会 審査規定

1 審査員

審査は、別紙の審査員が行い、審査長が総括する。

2 審査の対象

- (1) 出品栗は、当該品評会出品要領に適合するものについて審査する。
- (2) 審査にあたっては、対象出品栗を全て台帳番号により表示し、出品者は選賞決定後に発表する。
- (3) 何人も、審査開始後に出品栗に加除毀損その他の恣意的な操作を加えることは、一切認めない。

3 審査方法

審査は比較審査とし、審査員の合議を経て、優秀なものから順位をつけて賞を決定する。

審査の結果、相互の優劣判定の困難なものは、生産者の事情を加味して総合判定し、審査員において協議のうえ決定する。さらに判定困難なときは、審査長が決定する。

4 審査の基準

審査及び選賞は、次の点を判断して行う。

- (1) 品種系統が優秀であり、品質が優れていること。
 - ア 品種の斉一
 - イ 大きさ、色つや
 - ウ 粒揃い（側果に限る）
 - エ 病虫害の有無
- (2) 商品価値が高く、消費に適したものであること。

5 その他

- (1) 同一生産者から出品されたもので、2点以上が受賞候補であっても、褒賞は1点のみとする。
- (2) この規定で定めるもののほか、審査に関して必要な事項は、審査委員団が協議して定める。

令和 8 年度 丹波栗品評会 表彰一覧

	賞名	備考
特賞	兵庫県知事賞	
	兵庫県丹波県民局長賞	
	丹波篠山市長賞	丹波篠山市より選出
	丹波市長賞	丹波市より選出
	兵庫県丹波農林振興事務所長賞	
	兵庫県丹波農業改良普及センター所長賞	
	神戸新聞社賞	
	丹波新聞社長賞	
	丹波ひかみ農業協同組合長賞	丹波市より選出
	丹波ささやま農業協同組合長賞	丹波篠山市より選出
	兵庫県果樹研究会長賞（丹波篠山市）	丹波篠山市より選出
	兵庫県果樹研究会長賞（丹波市）	丹波市より選出
奨励賞		2 点
合計		1 4 点

*なお、奨励賞については出品点数により褒賞点数の増減を行う場合がある。

令和 8 年度 丹波栗品評会 審査員名簿

○兵庫県立農林水産技術総合センター

企画調整・経営支援部 専門技術員 小多 善功（審査長）

農産園芸部 主任研究員 黒田 英明

丹波農業改良普及センター 所長 玉木 衣央